

## 入学式式辞 「何がために学習者は学校という場に集まるのか」

本日、ここに令和八年度北海道釧路北陽高等学校入学式を挙行するにあたり、釧路市副市長 菅野隆博（かんの たかひろ）様をはじめ、御来賓各位、新入生保護者の皆様に御出席を賜り開催できますことを、厚くお礼申し上げますとともに、保護者の皆様には本日の慶事を心よりお祝い申し上げます。

ただ今、入学を許可しました新入生の皆さん、北陽高校への入学おめでとうございます。教職員、在校生挙げて皆さんの入学をお祝いするとともに、心より歓迎いたします。

私たちの学校、釧路北陽高校は、釧路市が設置する市立高校として、地域の期待に応え、地域の発展に貢献する人材を輩出するよう努めてまいりました。「健学大成」を校訓とし、自らの学びを求め、自らが求めたものを成し遂げる人物となるよう、学習活動にも学校行事にも、また、部局活動にも全力で取り組む生徒を育てる、そのような学校です。

本日から釧路北陽高校の一員となる新入生の皆さんに、高校生活の中で大切にしてほしいことを伝えたいと思います。それは、さまざまな考えを持つ皆さんのまわりにいる仲間と、言葉をとおして考えを伝え合う、「多様な他者とのコミュニケーション」の大切さについてです。

オンライン化が進む今、「何のために学校に人が集る必要があるのか、オンラインで授業を受ければ十分ではないか」といった問いが私たちに投げかけられるようになりました。

確かに、答えが一つしかない単純な知識を覚えるだけであれば、オンラインや生成 AI によって学ぶことができるでしょう。

しかし、答えが一つではない、みんなが納得できる、より良い答えを見つけ出すことは、対面での関わりの中でこそ深まるものと、私たちは考えます。また、困難に直面したとき、互いに励まし合い、勇気をもって一步を踏み出す力は、人と人とのつながりの中で育まれるものと、私たちは考えます。

学校が、単なる知識伝達の間であってはならない。人が集まり、ともに考え、ともに励まし合いながら行動し、人間的な成長を支える。学校は、そのような空間であるべきと私たちは考えます。

皆さんのまわりにいる友人は、さまざまな考え、アイディア、意見、価値観を持っています。そのような、多様な他者の考え方、価値観を尊重し、良き人間関係をつくるためにも、まずは、学校生活の基盤となるコミュニケーションの力を高めていきましょう。

本日、御列席下さいました保護者の皆様にも一言述べさせていただきます。本日よりお子様を釧路北陽高校の生徒としてお預かりすることとなりました。私たち教職員は、全力を挙げ、生徒一人一人の高校生活が豊かなものとなるよう誠心誠意の努力を致します。今後とも、ご臨席を賜りました御来賓の方々をはじめ、保護者の皆様方の、本校教育推進への御理解と御支援をお願い申し上げます。

結びとなりますが、高校3年間は、人生にとって、かけがえのない青春の日々となることでしょう。本日入学された新入生の皆さんが、ここ釧路北陽高校で青春を謳歌し、素晴らしい日々を過ごされることを心から期待し、式辞といたします。

令和八年四月八日 北海道釧路北陽高等学校長 鈴木 亮 介